

Point 057

179 彼は見かけほど年をとってはいない。

□□□ He is () as () () he looks. 〈鹿児島大〉

180 私の兄はあなたよりも長時間働いていますが、お金はあなたほど稼いでいません。

□□□ My brother works longer but doesn't earn (money / as / do / as / you / much). 〈関東学院大〉

181 The new factory (times / large as / as / three / is) the old one.

□□□ 〈愛知大〉

182 (a) This pole is twice as long as that one over there.

□□□ (b) This pole is () that one over there.

① twice longer

② double long of

③ twice the length of

④ twice long to

〈日本工大〉

183 (a) She has twice as many books as I have.

□□□ (b) She has twice () () of books that I have.

〈名古屋女子大〉

181 新しい工場は古い工場の3倍の広さがある。

182 (a) (b) このポールは、向こうのあのポールの2倍の長さがある。

183 (a) (b) 彼女は、私の2倍の数の本を持っている。

Point 057 原級比較の基本と倍数表現

179 **not as [so] + 原級 + as ...** 「…ほど～ではない」 基本

- ▶ 「**as + 原級 + as ...**」は「…と同じくらい～」の意味を表す。
- ▶ その否定形「**not as [so] + 原級 + as ...**」は「…ほど～ではない」の意味を表す。

+プラス 「**not as [so] + 原級 + as ...**」は、比較級表現の「**less + 原級 + than ...**」 「…ほど～ではない」と同意表現。lessの後には、比較級ではなくて原級が来ることに注意。

In those days sugar was *not as [so] valuable as salt.*
 = In those days sugar was *less valuable than salt.*
 (当時、砂糖は塩ほど価値がなかった)

180 **not as much + 名詞 + as ...** 標準

- ▶ (he) earns much money という表現を前提にして、「**not as + 原級 + as ...**」(→179)を組み込んだ形を作る。
- ▶ money as much as you do としないこと。(he) earns money much とは言えないからである。本問では much は形容詞として用い、(he) earns much money という文を前提にしなければならない。

181 **... times as + 原級 + as A** 「Aの…倍～」 英作 標準

- ▶ 倍数表現は「**... times as + 原級 + as A**」の形で表す。

+プラス **twice as + 原級 + as A** 「Aの2倍～」、**half as + 原級 + as A** 「Aの半分～」も重要。

+プラス 「**分数 + as + 原級 + as A**」で割合を示す表現がある。

Tom has collected *two-thirds as many stamps as I have.*
 (トムは私の3分の2の数の切手を収集している)

182 **twice the + 名詞 + of A = twice as + 原級 + as A** 標準

- ▶ **twice as + 原級 + as A** 「Aの2倍～」(→181)は「**twice the + 名詞 + of A**」と表現することができる。

+プラス **half as + 原級 + as A = half the + 名詞 + of A**

... times as + 原級 + as A = ... times the + 名詞 + of A

!!注意 これらの「**the + 名詞**」の形で用いることのできる名詞は、長さ(**length**)、大きさ(**size**)、重さ(**weight**)、数(**number**)などに限られているので、英作文などでは避けた方が無難。

183 **twice the number of A** 「Aの2倍の数」 発展

- ▶ (a)は **twice as many books as I have** 「私の2倍の数の本」となっているので、名詞 **number** を用いて **twice the number of A** とする(→182)。

Point 058

- 184 (a) Just drive as carefully as possible.
 (b) Just drive as carefully as you (). 〈城西大〉
- 185 Energy issues are not () economic problems as
 environmental problems.
 ① very much ② so much ③ so little ④ so many 〈西南学院大〉
- 186 Her lazy husband does not so () as wash his own dishes.
 ① even ② much ③ far ④ little 〈九州産大〉
- 187 He is as great a scholar ().
 ① as ever lived ② than has ever lived
 ③ who never lived ④ as has never lived 〈工学院大〉

Point 059

- 188 Let's buy this one. It's () cheaper.
 ① much ② very ③ too ④ more 〈駒澤大〉

整理 19

その他の原級を用いた慣用表現

- (1) **as + 原級 + as any** (+名詞)「どの～にも劣らず…」
 This bag is *as good as any* I have used.
 (このバッグは私が使ったどのバッグにも劣らずよい)
 * 最上級に近い意味になることに注意。
- (2) **as many A** (Aは複数名詞)「同数のA」
 She found five mistakes in *as many* lines.
 (彼女は5行で5か所の間違いを見つけた)
- (3) **as many as A** (Aは「数詞+複数名詞」)「Aも(多くの)」
 He can memorize *as many as* 50 numbers at a time.
 (彼は一度に50もの数字を記憶することができる)
 * Aが「数」的に多いことを表す。
- (4) **as much as A** 「Aも(多くの)」
 Some baseball players earn *as much as* three million dollars a year.
 (1年に300万ドルも稼ぐ野球選手もいる)
 * *as many as A* と同意の表現だが、Aが「量」的に多いことを表すため、Aには金額・重さなどを表す名詞が来ることに注意。
- (5) **like so many A** (Aは複数名詞)「さながらAのように」
 The boys were swimming in the pond *like so many* frogs.
 (少年たちはまるでカエルのように池で泳いでいた)

Point 058 原級を用いた慣用表現

左頁の【整理19】で、問題 184 ~ 187 以外の慣用表現も覚えておこう。

- 184 **as + 原級 + as possible** 「できるだけ…」 = **as + 原級 + as S can** **標準**
- 185 **not so much A as B** 「AというよりはB」 **標準**
＋プラス 同意表現の **B rather than A** もここで押さえる (→ 203)。
- 186 **not so much as do** 「…さえしない」 **標準**
＋プラス **without so much as doing** 「…さえしないで」 もここで押さえる。
 He departed *without so much as saying* good-bye.
 (彼はさよならさえも言わないで出発した)
- 187 **as + 原級 + as ever lived** 「古来まれな／並はずれた…」 **発展**
 ▶ 「**as + 原級 + as ever + 動詞の過去形**」は「これまでに～したどれにもまさるとも劣らず…」といった最上級に近い意味を表す。
 ▶ 本問の「**as + 原級 + as ever lived**」は成句表現で、「古来まれな／並はずれた…←これまでに生きた誰にもまさるとも劣らず…」の意味を表す。
 ▶ 「**as [so / too / how] + 形容詞 + a + 名詞**」の語順も重要 (→ Point 120)。

Point 059 比較級表現の基本

- 188 **much** の用法—比較級強調表現 **基本**
 ▶ **much** には比較級強調表現としての用法があり、比較級の前に置いて「はるかに…」の意味を表す。

整理 20

比較級・最上級の強調表現

- (1) 比較級の強調表現
much, far, still, even, by far, a lot, lots, a great [good] deal
- (2) 最上級の強調表現
by far, much, far, very
 *ただし、**very** は「**the very + 最上級 (+ 名詞)**」の語順になることに注意。
 She is *by far* the best singer in her class.
 = She is the *very* best singer in her class.
 (彼女はクラスですば抜けて歌がうまい)

- 184 (a) (b) できるだけ気をつけて運転しなさい。
 185 エネルギー問題は、経済問題というよりは環境問題である。
 186 彼女のものぐさな夫は、自分の皿を洗うことさえしない。
 187 彼は歴史上、並はずれた偉大な学者である。
 188 こっちのを買おうよ。ずっと安いよ。

189 (a) John is not so diligent as his elder brother.

□□□ (b) John is () diligent () his elder brother. <駒澤大>

190 He is () than clever.

□□□ ① more wise ② wiser ③ wise ④ the most wise <愛知淑徳大>

191 She bought () of the two books.

□□□ ① cheapest ② the cheaper ③ cheaper ④ the cheapest <亜細亜大>

Point 060

192 The more I thought about it, () certain I became that

□□□ Jekyll was mad.
 ① even more ② the more
 ③ mostly ④ it was almost <長岡造形大>

193 早く終われば、それだけ早く帰れます。

□□□ The faster we finish, (leave / the / can / we / sooner). <立正大>

194 She says she loves him all () for his character.

□□□ ① more ② less ③ the more ④ the most <防衛大学校>

195 A good tale is none the () for being twice told.

□□□ ① least ② worse ③ excellence ④ good <青山学院大>

189 (a) (b) ジョンは彼のお兄さんほど勤勉ではない。

190 彼は利口というより賢明だ。

191 彼女は、2冊の本のうち安い方を買った。

192 そのことについて考えれば考えるほど、私はますますジキルはおかしいと確信するようになった。

194 彼女は、彼の性格のためによりいっそう彼を愛していると言う。

195 よい物語は、2度語られたからといって少しも悪くはならない。

- 189 **less** + 原級 + **than ...** 「…ほど～ではない」
= **not so [as] + 原級 + as ...** (→ 179) 標準
- 190 **more** + 原級 + **than** + 原級 標準
▶ wise の比較級は wiser だが、同じ人[物]の異なる性質を比べるときは、「**more A(原級) + than B(原級)**」「**B**というよりはむしろ**A**」を用いる。
▶ ② wiser にしないこと。He is wiser than となれば、than 以下には「彼」の比較対象となる「人」が来る。
- 191 **the** + 比較級 + **of the two** 「2 つの中でより…」 標準
▶ 「**the + 比較級 + of the two (+ 複数名詞)**」の形で「2 つ[2 人]の中でより…」の意味を表す。「2 つ[2 人]の中でより…」という場合は、それ自体特定のものになるので、比較級の前に定冠詞の **the** がつくのである。

Point 060 :: 定式化された比較級表現

後半の問題 196 ~ 200 については p.80 の **考え方** によって論理的に理解できる。まずは **考え方** を熟読した上で、それぞれの問題の解説へと進むのがよい。

- 192 **the** + 比較級 ..., **the** + 比較級 ~ 「…すればするほど, ますます～」 標準
▶ 本問は I became certain that Jekyll was mad の形から、形容詞 certain の「**the + 比較級**」の形である the more certain が文頭に置かれたもの。
- 193 **the** + 比較級 ..., **the** + 比較級 ~ 標準
▶ 基本的な考え方は問題 192 と同じ。本問では、副詞の比較級を用いた the sooner を最初に置き、その後 to we can leave と続ける。
- 194 **(all) the** + 比較級 + **for** + 名詞 「…なのでそれだけ～」 標準
▶ 「**(all) the + 比較級 + for + 名詞 [because S+V...]**」で「…なのでそれだけ～」の意味を表す。
＋プラス 「**(all) the + 比較級**」は、「for + 名詞」や because 節の代わりに分詞構文や because of などの群前置詞、when 節など、さまざまな形に対応して用いられる。all が省略されることもあるので注意。
- 195 **none the** + 比較級 + **for** + 名詞 標準
▶ 「**none the + 比較級 + for + 名詞 [because S+V...]**」で「…だからといって少しも～ない」の意味を表す。「**none the + 比較級**」は「**all the + 比較級**」(→ 194) の否定形と考えればよい。

- 196 Even the brightest of chimpanzees can no () speak than they can fly.
□□□ ① less ② least ③ more ④ most (東京薬大)
- 197 Work is not the only object in life () play is.
□□□ ① any more than ② more or less than
③ more than ④ no less than (明治学院大)
- 198 よい友人との付き合いは、お金を稼ぐのと同様に大切なことである。
□□□ Making (important / friends / than / less / is / good / making / no) money. (龍谷大)
- 199 According to the newspaper, () one million people visited the museum last month.
□□□ ① no less ② no less than ③ no more ④ not any more (近畿大)
- 200 I was surprised that he had a lot of books. There were () five thousand books in his library.
□□□ ① not more than ② not less than
③ no more than ④ at most (皇学館大)

考え方

● 「not+比較級+than A」と「no+比較級+than A」の違い

「not+比較級+than A」は「Aより…ということはない」の意味で、Aと同等かそれ以下という比較の差を表す比較級だが、強い否定の意味を持つ no を用いた「no+比較級+than A」では、「no+比較級」が「まったく…ない」といった意味を表す。

そのため than 以下は、比較の差を示す対象としてではなく、「no+比較級」の内容をより明白にする役割を果たす。

たとえば The stone is no bigger than a golf ball. の場合、

「その石がゴルフボールより大きいなんてとんでもない」

→「その石はゴルフボールと同じくらい小さい」(=The stone is as small as a golf ball.)

→「その石はゴルフボールぐらいの大きさしかない」という意味になる。

結論として、「no+比較級+than A」の no は「②比較の差をゼロにし、④後の語を意味的に否定する」働きがあると考えればよい。

- 196 どんなに聡明なチンパンジーであっても話すことができないのは、彼らが飛ぶことができないのと同じである。
- 197 仕事が人生の唯一の目的ではないのは、遊びがそうでないのと同じである。
- 199 新聞によると、先月は百万人もその美術館を訪れたようだ。
- 200 彼がたくさん本を持っているのに、私はびっくりした。彼の書斎には少なくとも5,000冊の本があった。

196 **A is no more B than C is D** 「CがDでないようにAはBでない」

標準

▶ **A is no more B than C is D**(動詞は be 動詞と限らないが、便宜的に is で代表させておく)は「CがDでないのと同様にAはBでない/AがBでないのはCがDでないのと同様である」の意味。まずは左頁^{考え方}参照。

▶ 左頁の^{考え方}を公式的に拡大し、B、Dに形容詞、副詞以外に名詞なども用いるようになったのが **A is no more B than C is D** である。比較級の否定語の no の働きから⑦ **A is B=C is D** が成り立ち、④ more は肯定表現だから、意味的には否定的視点から述べることになる。よって「CがDでないようにAはBでない」といった意味となる。

197 **A is not B any more than C is D**

標準

▶ **A is not B any more than C is D** は **A is no more B than C is D**(→ 196)の同意表現。no が not と any に分解された形。

198 **A is no less B than C is D** 「CがDであるようにAはBである」

標準

▶ **A is no less B than C is D** 「CがDであるようにAはBである/AがBなのはCがDなのと同じだ」を用いる。この意味になる理由は **A is no more B than C is D**(→ 196)と同じ。no の働きから、⑦ **A is B=C is D** が成り立ち、④ less は否定表現だから二重否定の意味が生まれ、肯定的視点から述べることになる。したがって、上記の意味が生じるのである。

199 **no less than A** 「Aも(たくさん)」

標準

▶ **no less than A** は「Aも(たくさん)」の意味を表す。as many as A(→ p.76[整理19])とほぼ同意。考え方は下の[整理21]参照。

200 **not less than A** 「少なくともA」

標準

▶ **not less than A** は「少なくともA」の意味を表す。at least A とほぼ同意。

整理 21

no more than A など

なかなか覚えにくい表現のようだが、左頁の^{考え方}の「not+比較級+than A」, 「no+比較級+than A」の違いを認識していれば容易。

- **not more than A** 「多くともA ← A以上ではない」=at most A
- **not less than A** 「少なくともA ← A以下ではない」(→ 200)=at least A
- **no more than A** 「わずかA/Aしか…ない←⑦Aと同じだが、④ more の反対(少ない)という視点から」=only A
- **no less than A** 「Aも(たくさん)←⑦Aと同じだが、④ less の反対(多い)という視点から」(→ 199)=as many as A(数の場合), as much as A(量の場合)(→ p.76[整理19])

Point 061

- 201 この薬は1日に2回までしか飲んではいけません。
 Don't take this medicine (than / day / more / a / twice). (中央大)
- 202 彼女はその本を1時間もしないうちに読み終えた。
 She (reading / in / book / than / finished / hour / less / the / an). (帝京大)
- 203 Of course he is quite a good writer, but he is a journalist ()
 than a scholar.
 ① better ② either ③ further ④ rather (京都産大)
- 204 彼はそんな話を信じるほど愚かではない。(1語不要)
 He (believe / better / doesn't / knows / than / to) such a story.
 (東京理科大)
- 205 I did not even speak to her, () discuss your personal
 problems with her.
 ① much less ② still more
 ③ much more ④ less than (昭和女子大)

Point 062

- 206 (a) This car is better in design than that one.
 (b) This car is () in design to that one. (実践女子大)
- 207 (a) He is three years older than I.
 (b) He is three years () to me. (四天王寺大)
- 208 Most children prefer playing () studying.
 ① than ② to ③ for ④ in (札幌大)

- 203 もちろん彼はとても素晴らしい書き手ですが、学者と言うよりもジャーナリストです。
- 205 私は彼女と話をしたことさえないし、ましてやあなたの個人的な問題を彼女と議論したこともない。
- 206 (a) (b) この車は、あの車よりデザインの点で優れている。
- 207 (a) (b) 彼は私よりも3歳年上です。
- 208 ほとんどの子どもが勉強よりも遊びを好む。

Point 061 ∴ その他の慣用的な比較級表現

- 201 **more than A** 「Aより多い」 基本
 ▶ 成句表現の **more than** の後に twice a day を続ける。
 ▶ a day の a は「…につき」(=per)の意味を表す。
- 202 **less than A** 「A足らずの←Aより少ない」 標準
 ▶ まず finished reading the book とまとめ、その後成句表現の less than A を用いて、in less than an hour と続けよう。
 ▶ in は「経過」を表す前置詞(⇒390)。
- 203 **B rather than A** 「AというよりむしろB」 基本
 ▶ **not so much A as B**(⇒185)の同意表現。
- 204 **know better than to do** 「…するほど愚かではない」 標準
- 205 **, much less ...** 「…は言うまでもなく/ましてや…ない」 標準
 ▶ 「, much less ...」は、否定文・否定的内容の文の後に続けて、「…は言うまでもなく/ましてや…ない」の意味を表す。「, still less ...」も同じ意味を表す。
 +プラス 肯定文に続ける場合は、「, much more ...」を用いるが、その用例は現在ではまれ。

Point 062 ∴ ラテン比較級

以下に述べるラテン語に由来する形容詞は、比較対象を示すのに than ではなく to を用いることに注意。

- 206 **be superior to A** 「Aより優れている」 標準
- 207 **be senior to A** 「Aより年上だ」 標準
 ▶ older, senior の前の three years は比較の差を表す。
- 208 **prefer A to B** 「BよりもAを好む」 標準
 ▶ 動詞 prefer もラテン語が語源。prefer A to B のA, Bには名詞または動名詞が来る。prefer の過去形は preferred となることに注意。
 +プラス この形容詞形を用いた be preferable to A 「Aより好ましい」も押さえる。

整理 22

ラテン比較級

- **be superior to A** 「Aより優れている」(⇒206)
- **be junior to A** 「Aより後輩だ/Aより年下だ」
- **be inferior to A** 「Aより劣っている」
- **be preferable to A** 「Aより好ましい」
- **be senior to A** 「Aより先輩だ/Aより年上だ」(⇒207)

201 more than twice a day 202 finished reading the book in less than an hour
 203 ④ 204 knows better than to believe (doesn't 不要) 205 ① 206 superior
 207 senior 208 ②

Point 063

- 209 Of the three sisters, Jane was () singer.
 ① the better ② a better ③ the best ④ a best (獨協大)
- 210 This movie is () far the most interesting of all.
 ① too ② by ③ much ④ very (東海大)
- 211 Susan is () student in her class.
 ① much best ② much the best
 ③ the much best ④ very the best (学習院女子大)
- 212 This is () beautiful scene I've ever seen.
 ① much more ② much less
 ③ prettier than ④ the most (岩手医科大)
- 213 これは、私が今まで読んだ中で最も難しい小説です。
 This is (that / ever / most / the / novel / I / difficult / have)
 read. (拓殖大)
- 214 Los Angeles is () city in the United States.
 ① the second largest ② the largest next
 ③ the second larger ④ the next larger (専修大)
- 215 A Rolls-Royce is one () in the world.
 ① of the most expensive car
 ② of the most expensive cars
 ③ of more expensive car
 ④ of more expensive cars (拓殖大)
- 216 It's almost two o'clock so we have only ten more minutes
 ().
 ① at first ② at last ③ at least ④ at most (センター試験)

- 209 3人の姉妹の中で、ジェーンが最も歌がうまかった。
 210 この映画は、すべての中でずば抜けておもしろい。
 211 スーザンは、クラスの中でずば抜けてすぐれた学生です。
 212 これは、私がこれまで見てきた中で最も美しい景色である。
 214 ロサンゼルスは合衆国で2番目に大きな都市だ。
 215 ロールス・ロイスは、世界で最も高価な車の一つです。
 216 もうすぐ2時なので、私たちにはせいぜい10分しか残されていない。

Point 063 : 最上級を用いた表現

209 S is the + 最上級 + 名詞 + of A (複数名詞) 「SはAの中で最も…の～だ」

基本

- ▶ 形容詞の最上級が名詞を修飾する場合には、必ず **the** がつくことに注意。
- ▶ 「Aの中で」を表すときに、Aが構成要素を表す複数名詞の場合は、本問のように **of A** となるが、Aが範囲を表す単数名詞の場合は **in A** となる。
He is the best swimmer *in* his class. (彼はクラスで一番水泳が上手だ)

!! 注意 本問は of A が文頭に置かれた形。この形で出題されることも多い。

210 最上級強調の **by far** の用法

標準

- ▶ **by far** には最上級強調表現の用法がある。最上級の前に置いて「ずば抜けて…/飛びきり…」の意味を表す(⇒p.77【整理20】)。

211 最上級強調の **much** の用法

標準

- ▶ **by far**(⇒210)と同様に **much** も最上級強調表現としての用法がある(⇒p.77【整理20】)。

+プラス ④ very the best にしないこと。very にも最上級を強調する用法があるが、very の場合は「**the very** + 最上級 (+名詞)」の語順になる。したがって、the very best なら可となる(⇒p.77【整理20】)。

212 **the** + 最上級 + 名詞 + (**that**) S **have ever done** 「Sが今まで～した中で最も…」

標準

- ▶ **that** は目的格の関係代名詞で、本問のように省略されることもある。
- ▶ **ever** 「今までに」は通例、肯定文では用いないが、この構造の場合は例外的に肯定文で用いる(⇒699)。

213 **the** + 最上級 + 名詞 + (**that**) S **have ever done**

標準

214 **the** + 序数 + 最上級 「…番目に～」

標準

!! 注意 ③ the second larger にしないこと。「2番目に～」という場合でも、比較級ではなくて、必ず最上級を用いる。

215 **one of the** + 最上級 + 複数名詞 「最も…な～の中の一つ[一人]」

標準

!! 注意 「one of the + 最上級」の後は、必ず複数名詞になる。正誤問題の頻出項目。

216 **at most** 「せいぜい/多くとも」

標準

- ▶ 文意から **at most** 「せいぜい」を選ぶ。at most は p.81【整理21】参照。
- ▶ ① at first 「初めのうちは/最初は」(⇒703), ② at last 「ついに」, ③ at least 「少なくとも」(⇒p.81【整理21】)も重要イディオム。

209 ③ 210 ② 211 ② 212 ④ 213 the most difficult novel that I have ever

214 ① 215 ② 216 ④

Point 064

217 Tom is taller than () in the class.

□□□

- ① any other student ② other any student
③ the other students ④ any other students

〈近畿大〉

218 (a) Osaka has more bridges than any other city in Japan.

□□□

- (b) No other city in Japan has () many bridges ()
Osaka.

〈西南学院大〉

219 (a) He is the tallest boy in his class.

□□□

- (b) () () () in his class is taller than he.

〈鹿児島大〉

220 (a) Friendship is the most important to a child.

□□□

- (b) () is as important to a child as friendship.

- ① Anybody ② Anytime ③ Nothing ④ Somebody

〈近畿大〉

整理 23

最上級の意味を表す原級・比較級表現

- (1) Mt. Fuji is the highest of all the mountains in Japan. (最上級)
(富士山は日本で最も高い山だ)
= **No other mountain** in Japan is **so [as]** high **as** Mt. Fuji. (原級)
= **No other mountain** in Japan is **higher** than Mt. Fuji. (比較級)
= Mt. Fuji is higher than **any other mountain** in Japan. (比較級)
- (2) Time is the most precious thing of all. (最上級)
(時はすべての中で最も貴重である)
= **Nothing** is **so [as]** precious **as** time. (原級)
= There is **nothing so [as]** precious **as** time. (原級)
= **Nothing** is **more precious** than time. (比較級)
= There is **nothing more precious** than time. (比較級)
= Time is **more precious** than **anything else**. (比較級)

217 トムはクラスのほかのどの生徒よりも背が高い。

218 (a) 大阪には、日本の他のどの都市よりも多くの橋がある。

(b) 日本の他のどの都市も、大阪ほど多くの橋はない。

219 (a) 彼はクラスの中で最も背が高い少年だ。

(b) 彼のクラスの他のどの少年も、彼より背は高くない。

220 (a) 友情は子どもにとって最も大切である。

(b) 子どもにとって友情ほど大切なものはない。

Point 064 :: 最上級の意味を表す原級・比較級表現

いずれも連立完成問題を中心とした言いかえ問題で問われることが多い。最終的には左頁の【整理23】の言いかえができるようになること。

217 **A be** 動詞[一般動詞]+比較級+**than any other**+単数名詞「Aは他のいかなる～よりも…」 標準

▶ 比較表現で最上級の意味を表す定式化された表現。**any**は「どんな…でも」の意。

218 **No (other)+名詞+is so [as]+原級+as A** 「Aほど…な～はない」 標準

▶ 原級表現で最上級の意味を表す定式化された表現。「**A is+比較級+than any other+単数名詞**」(→217)と同意。

+プラス 比較対象が同一の範ちゅうでない場合は **other** をつけないことに注意。以下の例では、東京はヨーロッパの都市ではないから **other** は使えない。

No city in Europe is so populous as Tokyo.

(東京ほど人口の多い都市はヨーロッパにはない)

219 **No (other)+名詞+is+比較級+than A** 「Aより…な～はない」 標準

▶ 以下の形で押さえる。左頁の【整理23】の(1)を参照。

No (other)+名詞+is+比較級+than A

=**No (other)+名詞+is so [as]+原級+as A** (→218)

=**A is+比較級+than any other+単数名詞** (→217)

220 **Nothing is as [so]+原級+as A** 「Aほど…なものはない」 標準

▶ 「**no other+名詞**」(→218)の代わりに **nothing** を用いた原級表現。最上級の意味を表す定式化された表現。

+プラス 以下の表現も頻出。左頁の【整理23】の(2)を参照。

Nothing is so [as]+原級+as A

=**There is nothing so [as]+原級+as A**

=**Nothing is+比較級+than A**

=**There is nothing+比較級+than A**

=**A is+比較級+than anything else**